

総合的な学習の時間

検証授業2回目

単元名「石垣島の魅力

再発見・発信」



令和4年6月21日(火) 4校時

5年2組 31名

授業者 新里 さつき

第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

令和4年6月21日(火) 4校時

5年2組 31名

授業者 新里 さつき

1 単元名「石垣島の魅力 再発見・発信」

2 単元の目標

石垣島について調べたり、魅力再発見に向けた活動に協働して取り組んだりすることを通して石垣島の魅力発信に関する具体的な取り組みについて考え、石垣島の魅力を発信し続ける人々の思いや願いを理解するとともに、石垣島とのつながりについて考え、生活できるようにする。

3 教材観

本単元では、「石垣島の魅力再発見・発信」を通して、問いを追究させることを意識した単元づくりを行う。石垣島は自然豊かで過ごしやすい環境であり、観光や修学旅行で訪れる人も多く、また、移住者も年々増加している。そこで、本単元において、地域に対する関わりをもつ機会を設定し、地域とのつながりや地域への思い、地域社会に関わる喜びを児童に感じさせ、授業を展開していく。具体的には、問いを追究させるために、問いを生かし授業展開するための教師の働きかけや児童に振り返りの視点を持たせた振り返りシートの活用を行う。その際、授業の工夫として、地域資源である「人・もの・こと」など様々な視点から、地域のよさを改めて実感させることで、地域への親しみや愛着が深まっていくであろうと考える。また、地域に対して自分にできることは何か、どのような行動ができるかを考えさせることで、社会に参画しようとする態度を育成することができるであろうと考える。

4 児童観

本学年の児童は、総合的な学習の時間を楽しみにしている児童が多く、本単元の「石垣島の魅力再発見・発信」も意欲的に授業を行っている。しかし、事前アンケートでは、「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの活動に取り組んでいますか」の問いに対し肯定的な意見が51%、で全国平均73%に比べ、22%も下回る結果となり、探究のプロセスを意識した授業づくりが不十分であったことが分かった。また、91%の児童が石垣島に魅力があると答えており、児童は石垣島に魅力があると感じている。しかし、「石垣島をよくするために何をすべきか考えたことはありますか」や「地域の行事に参加していますか」の問いに対して、肯定的な意見は約50%であり、社会に参画しようとする態度が低いということが明らかになった。

5 指導観

指導に当たっては、新聞記事(全国移住したい市町村ランキング石垣市9位)を活用し、石垣島にどのような魅力があるかウェブページを活用して、石垣島の魅力を出させる。その際、KJ法で整理し、自分をもっと調べてみたいと思う課題を設定する。また、授業の工夫として、地域資源の人である、市役所の方に石垣島の魅力について話を聞く。情報収集に関しては、インターネット・広報誌・インタビュー等を活用していく。その後、同じテーマの児童をグループにし、情報を比較・分類・関連付けさせ、思考ツールを活用し、可視化して情報の整理を協働的に活動させていく。最後のまとめ・表現を行う際は、表現方法を児童に選択させ、5W1Hに基づき、目的意識・相手意識を明確にし、石垣島の魅力を発信する。そして、児童が少しでも地域とのつながりや良さを改めて実感させることで、地域への親しみや愛着が深まり、地域に対して何ができるかどのような行動ができるかを考えることで社会に参画しようとする態度を育成していく。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①石垣島には、独特の特徴があることを理解するとともに、その魅力を発信している人々の思いや願いに気づいている。</p> <p>②石垣島の魅力を理解し、人・もの・ことと関わりながら探究的に学習している。</p> <p>③石垣島と自分たちの生活には関連があることの理解は石垣島の魅力を再発見し、探究的に学習し、発信したことの成果であると気づけている。</p>	<p>①石垣島の複数の魅力から自己の課題を設定するとともに、解決に必要な調査方法を明確にしながらい計画を立てている。</p> <p>②石垣島の魅力をよりよく理解するために必要な情報を調査する対象に応じた方法を選びながら収集している。</p> <p>③石垣島の魅力を発信する活動を進めるために、事象を比較したり関連付けたりして理由や根拠を明らかにし、具体的な活動を決定している。</p> <p>④石垣島の魅力発信に向けた自分の考えを表現方法の特徴や表現の目的に合わせて分かりやすくまとめている。</p>	<p>①石垣島の魅力再発見・発信するという目的に向け、自分自身で設定した課題の価値を見いだそうとしている。</p> <p>②自分と異なる意見や考えを生かしながら、協働的に探究活動に取り組もうとしている。</p> <p>③自分と石垣島や地域の人々等とのつながりに気づき、地域のためにできることを考えようとしている。</p>

7 単元計画と評価計画（全16時間）

次	時	ねらい・学習活動	評価規準			評価方法		
			知・技	思・判・表	態度	行動観察	ワークシート	振り返りシート
課題設定	1	オリエンテーション 学年のテーマを提示し、今後の活動の見通しをもつ			①	○		○
	2	石垣島の魅力についてグループでウェビングをする（思考ツール）	②		②		○	○
	3	石垣島の魅力を市役所の方に話を聞く	①		①	○		○
	4	自分の課題設定をする		①	①		○	○
情報収集	5 ～ 8	自分が設定した課題を解決するために複数の根拠のある情報を集める	②	②	②		○	○
	9 本 時	お互いの進捗状況を確認するために中間発表をする		②	②	○		○
整理 ・ 分析	10	集めた情報を基に個人で情報を整理する		③			○	
	11 本 時	個人で整理した情報をグループで整理する（思考ツール）			②	○		○
	12	石垣の魅力が伝わる表現方法をグループで考え、決める		③	②	○		○
まとめ ・ 表現	13	グループで決めた表現方法で資料を作成する		④	②			○
	14							
	15	石垣島の魅力を発信する			③	○		
	16	振り返る	③		③	○		○

8 本時の指導

(1) 目標

- ①中間発表で出たアドバイスや質問を基に、個人で整理した情報が石垣島の魅力になっているかグループで協力してまとめている。
- ②相手意識や目的意識をもち、グループで話し合いをし、情報を整理している。

(2) 展開

	学習活動	指導上の留意点・支援 (◇)	【評価規準】 <評価方法>
導入 5分	1 めあてをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 自分の書いた原稿が石垣島の魅力につながっているか、目的や相手を考え、グループで協力し、情報を整理しよう。 </div> 2 本時の流れを知る。	◇これまでの学習の確認をする。 ◇本時の学習の流れを確認する。 ◇グループで話し合い、協力することを確認させる。	
展開 30分	3 個人で整理した情報が石垣島の魅力になっているかグループで原稿を読み合い、話し合いの視点をもとに話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 話し合いの視点 1、わかりやすい文章になっているか？ 2、石垣島にしかない魅力になっているか？ </div> 4 石垣島の魅力の伝え方を考える。思考ツール（フィッシュボーン）を活用して考える。	◇個人で整理した情報が石垣島の魅力になっているかグループで原稿を読み、話し合いの視点をもとに話し合いをさせる。 ◇話し合いの視点についてプリントで確認する。 ◇考えられないグループには声かけを行う。 ◇5W1Hに基づいて、フィッシュボーンの説明をする。 ◇相手意識や目的意識をもって考えさせる。	【態度】 自分と異なる意見や考えを生かしながら、協働的に探究活動に取り組んでいる。<観察>
まとめ 10分	5 振り返り ・振り返りの視点を確認して、振り返りシートを書く。 6 授業のフィードバックを聞く。 7 次時の見通しをもつ。	◇振り返りの視点をもとに、振り返りシートを書かせる。 ◇本時のフィードバックを行う。 ◇次時の確認を行う	【態度】 自分と異なる意見や考えを生かしながら、協働的に探究活動に取り組んでいる。<振り返りシート>

(3) 評価

- ① 中間発表で出たアドバイスや質問を基に、個人で整理した情報が石垣島の魅力になっているかグループで協力してまとめようとしている。
- ② 相手意識や目的意識をもち、グループで話し合いをし、情報を整理している。

(4) 板書計画

石垣島の魅力再発見・発信

めあて

自分の書いた原稿が石垣島の魅力につながっているか、目的や相手を考え、グループで協力し、情報を整理しよう。

学習の流れ

- 1 グループで原稿を読み合い、追加や手直しをする。
↓
- 2 石垣島の魅力の伝え方を考える。
思考ツールの活用（フィッシュボーン）

フィッシュボーンの説明

